

水道管を凍結から守りましょう

～市民の皆様に取り組んでいただきたいこと～

1月から2月にかけて水道管の凍結、破裂が多発します。

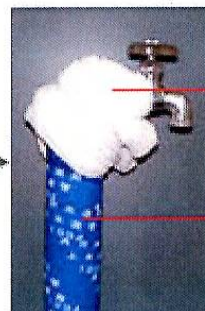
水道管は、気温がマイナス4度以下になると、凍結、破裂する可能性が高くなります。

水道管の凍結を防ぐには

- ◎ 屋外に設置している水道管や蛇口には、市販されている保温材（毛布や布でも代用できます。）を取り付けると効果的です。
 - ◎ 給水装置 ※（共同住宅や貸家を除き、お客様所有）を破損してしまうとお客様が修理費用を負担することになります。
- ※ 配水管(本管)から分岐された給水管及びこれに直結する給水用具(蛇口等)のこと。

このような場所は特に注意しましょう。

- ・風当たりの強い戸外にある。
- ・北向きの日陰にある。
- ・むき出しになっている。



①市販の保温材を巻きつける(古毛布や布でも代用できます。)

②保温材がめれて凍結するのを防ぐため、ビニールテープなどでしっかりおさえる。

水道管やじゃ口部分に保温材を取り付ける方法があります。



(図は、解氷方法の一例です。)

水道管が凍結してしまったら

水道管が凍結してしまったら、タオルなどをかぶせ、その上からぬるま湯をかけましょう。

熱湯をかけたり、凍った状態で無理に蛇口をひねったりすると破損することがあるので注意しましょう。

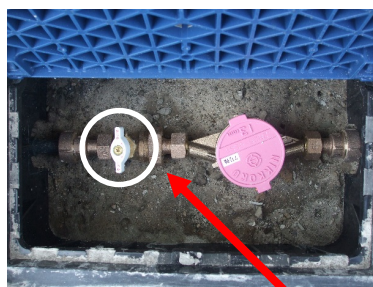
もしも破裂してしまったら

水道管や蛇口が破裂してしまったら、まず量水器ボックス内の止水栓（元栓）を閉めて水を止めましょう。もし止水栓が見つからないときは、破裂したところにタオル等を巻きつけて、水が吹き出るのを防ぐ応急処置を行ってください。

凍結破損などによる修繕は、志布志市指定給水工事事業者に依頼してください。

写真は停水の状態です。

元栓が丸型の場合は、右へ数回、回すと止まります。



(止水栓)

志布志市水道事業 水道課 業務管理グループ
電話 099-472-3761 (内線185・186)